

令和２年３月定例月議会一般質問一覧表

発言 順序	氏 名	質問 方式	件 名
代表 １	16 番 毛受 明宏 議員	一括	1. 施政方針と令和２年度予算について
代表 ２	7 番 青木 亮 議員	一括	1. 令和２年度施政方針及び予算について
代表 ３	6 番 ごとう 学 議員	一問 一答	1. 令和２年度施政方針及び当初予算について
代表 ４	20 番 近藤 善人 議員	一問 一答	1. 令和２年度予算・施政方針について
代表 ５	14 番 一色美智子 議員	一括	1. 令和２年度予算・施政方針・予算要望からについて
個人 １	3 番 いとうひろし議員	一括	1. 選挙の投票率向上への主権者教育について 2. ごみの減量化とごみ出し支援について
個人 ２	19 番 ふじえ真理子議員	一問 一答	1. 再度問う。新たな学校教育（中学校）のあり方について
個人 ３	1 番 服部 龍一 議員	一括	1. 高齢者の運転免許証自主返納制度について 2. 「広報とよあけ」の配布方法について
個人 ４	17 番 月岡 修一 議員	一括	1. 前後駅の駐輪場を抜本的に改善すべきである。 2. 小中学校の部活の指導を民間委託すべきではないか。
個人 ５	15 番 近藤 郁子 議員	一括	1. 勅使墓園の維持管理について 2. 歯と口腔の健康づくり推進について

個人 6	13 番 近藤 千鶴 議員	一括	1. 本市における公共交通網促進と道路交通網の整備について
個人 7	6 番 ごとう 学 議員	一問 一答	1. 行政過程を示す公文書の適正な管理を 2. 行政改革は目に見える成果をあげよ 3. 会計年度職員は現給保障を
個人 8	5 番 林ゆきひろ 議員	一問 一答	1. 都市計画税の使途について 2. 家庭相談員による相談事業の拡充を要望する
個人 9	11 番 清水 義昭 議員	一問 一答	1. 情報管理および情報機器利用、促進について 2. 唐竹小学校跡施設活用に至った経緯について
個人 10	10 番 郷右近 修 議員	一問 一答	1. 医療負担の軽減を求めて 2. 木造建築の耐震化が進むように 3. 「聴こえ」を助ける政策を
個人 11	4 番 中村めぐみ 議員	一問 一答	1. 育児休業に伴う保育園未満児退園の見直しを 求める 2. 乳がん・子宮がんの早期発見と検診の受診率 向上をめざして
個人 12	9 番 鵜飼 貞雄 議員	一括	1. 災害に備えた施策について
個人 13	2 番 堀内 ちほ 議員	一括	1. ヘアドネーション（ヘア＝髪の毛 ドネーシ ョン＝寄付）普及について 2. 民家駐車場の有効活用について
個人 14	12 番 宮本 英彦 議員	一問 一答	1. 小学校プールの廃止と水泳授業の民間委託に ついて 2. 少人数学級（35人以下）と教員補助員と支援員 について

種 別	☐ 個人質問 ☒ 代表質問	受 付	令和2年2月17日
	番 号		11 時 07 分
質問方式	☒ 一括質問一括答弁方式 ☐ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和2年2月17日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員 毛 受 明 宏

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	施政方針と令和2年度予算について
要 旨	会派を代表し、以下質問を致します。 ○第2期小浮市政における初めての当初予算編成について ・ネーミングすると ・歳入の最重点ポイント ・歳出の新規目玉事業 ○主要事業より ・産業振興施策 ・土木維持管理施策 ・防災対応施策

種 別	☐ 個人質問 ☒ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 17 日
	3 番 1 号		11 時 14 分
質問方式	☐ 一括質問一括答弁方式 ☒ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 2 月 17 日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員 ごとう 学

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	令和 2 年度施政方針及び当初予算について
今議会に示された令和 2 年度施政方針及び当初予算に関しては、 時宜を得た適切な事業もあれば、欠落または方針や姿勢に疑問を 抱かせる事業等もあります。「すべての市民が幸せを実感できる暮らしを実現」 しようとする熱意は評価しつつ、下記の事項について疑問点等を質問いたしま す。	
1.歳入について	
2.幼保無償化について	
3.子育て環境の改善について	
4.宅地開発について	
5.工業団地について	
6.消防・防災について	
7.小学校英語教科化及び外国語指導について	
8.下水道事業について	
9.新型コロナウイルス対策について	

種 別	☐ 個人質問 ☒ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 17 日
	4 番 号		10 時 42 分
質問方式		☐ 一括質問一括答弁方式 ☒ 一問一答方式	

一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 2 月 17 日

豊明市議会議長 殿

豊明市議会議員 近藤 善人

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	令和 2 年度予算・施政方針について
要 旨	① 5年目となる部門別包括予算について説明をお願いします。また、市長の重点施策は、部門別包括予算制度の中でどのように反映されているか。 ② 市長の施政方針について伺います。施政方針の3ページ中段、「私たちが積み重ねた5年間を経て、豊明市は市民一人ひとりが、幸せの実現に向けた未来へと至る段階に入ったと実感している」と記述されていますが、実感しているとは何をさしているのか、具体的にお答え願います。 ③ 施政方針3ページの下段、「未来に向けた助走段階は終り、・・・」とありますが、助走段階とは何か、何が終わったのでしょうか？具体的にお答え願います。 ④ 小浮市長の一期目・二期目の所信表明に共通しているのは、人口増、特に働き盛りの人口、生産年齢人口の人口増加です。この働き盛りの世代の人口増に対する、令和2年度の具体的な予算、事業は何か。 ⑤ 令和2年度の施政方針を読んでみて、色々な事業が総花的^{そうばなてき}に述べられていますが、何が令和2年度の重点施策か。令和2年度の当初予算編成に当たり最も重視した予算は何か・事業は何か。

⑥ 予算編成の中で要求額と査定額の乖離額 ^{かいりがく} があったと思いますが、各事業について優先順位付けによる見直しや廃止はあったでしょうか。また、継続していた事業で令和２年度に廃止した主な事業は何か。
⑦ 個人市民税 3%増、法人市民税 21.6%減、固定資産税 1.9%増、軽自動車税 2.8%増、たばこ税 4.0%減、都市計画税 1.5%増それぞれの根拠について。
⑧ 民生費について、毎年４億円以上増加し続けている要因の分析と今後の対策について。（平成 31 年度 4 億 4,700 万、令和 2 年度 4 億 3,900 万円）
・健康長寿延伸への取り組み、２０２５年問題への対応など。
⑨ 教育費 2 億 5,300 万円減額されていますが、減額の主な要因は何か。また、減額に伴う事業への影響について。
・全体の働き方改革がなかなか進まない中、新学習指導要領の導入に伴う教員の負担増が考えられますが、教員の多忙化解消の進捗状況と今後の見通しについて。
・新学習指導要領の導入に伴うＩＣＴ環境整備及び外国語教育への対応について。
・スクールサポートスタッフについて。
<主要事業の概要>から
・園児等移動経路整備工事事業について。
・セーフティプラスワン事業について。
・二村台小学校教育環境整備事業について。
・大規模改修の内容について。児童への影響は。
以上

種 別	☐ 個人質問 ☒ 代表質問	受 付	令和 2年 2月 13 日
	5 番 1 号		10 時 57 分
質問方式	☒ 一括質問一括答弁方式 ☐ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和 2年 2月 13 日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員 一色 美智子

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	令和2年度予算・施政方針・予算要望からについて
要 旨	1、 新年度予算と財政運営について ・ 新年度予算の状況と予算編成の特徴について ・ 今後の市政運営・財政の見通しについて ・ 重点事業の取組みについて 2、 地方創生の成果と今後について ・ 第1期（2015年～2019年）の総括成果について ・ 第2期（2020年～2024年）の今後について 3、 子育て安心社会の実現について ・ 幼児教育・保育の無償化について ・ 出産・子育てをしやすいまちづくりについて ・ 児童虐待の根絶について 4、 希望ある幸齢社会の実現について ・ 高齢者の健康・いきがいづくりについて ・ 地域包括ケアシステムの構築について 5、 一人の生命を守り抜くについて ・ 防災・減災対策について ・ 交通安全対策について 6、 誰もが輝く社会の実現について ・ 障がい者等への支援強化について ・ 女性活躍の推進について ・ L G B Tの方への支援について

種 別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 7 日
	1 番 1 号		9 時 00 分
質問方式	☒ 一括質問一括答弁方式 ☐ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 2 月 7 日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員 いたう ひろし

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	選挙の投票率向上への主権者教育について
要 旨	今まで、多くの議員方々が質問を行っており、重複する点もある とは思いますが、ご答弁のほど、よろしくお願いします。
①	年の投票率の推移は。
②	昨年の 7 月と 10 月の国勢選挙の 10 代の投票率は。
③	期日前の投票率の過去 3 年の推移は。
④	広報車の運行の頻度は。
⑤	投票済み証のデザインを工夫したらどうか。
⑥	投票所を増やすお考えは。(駅前・スーパー等)
⑦	移動投票所を導入のお考えは。
⑧	学校への出前授業等を行っているか、またその学年は。
⑨	主権者教育の充実へ向けた取り組みは。
⑩	教職員の中立性を保つための取り組みは。
⑪	行政への関心を高めるため、学生が議場を傍聴する取り組みは。

種 別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 7 日
	1 番 2 号		9 時 00 分
質問方式	☒ 一括質問一括答弁方式 ☐ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 2 月 7 日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員 いとう ひろし

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	ごみの減量化とごみ出し支援について
要 旨	市民の一人一人がごみの減量化・資源比率の向上を心掛ける事は将来のためにも必要である。その為にできる事は今からやろう。
①	燃えないごみの収集回数が減った理由は。
②	昨年度の家庭ごみと事業所のごみの量は。
③	来年度目標の 1 人 1 日当たり 456 g の 10%削減は達成の予想は。
④	削減へ向けた市民や事業所への取り組みは。
⑤	剪定枝や草などは市の方で処理はできないか。
⑥	現在の分別方法で問題はないか。
⑦	電気式生ごみ機等の補助金は。
⑧	食品ロス削減への取り組みは。
⑨	粗大ごみの中でリサイクル可能なものは修理等をして販売はできないか。
⑩	今後、人口が減り市民の意識が高まりごみの量は減るのでは。
⑪	有料化することでの市の収入の見込みは。
⑫	高齢者世帯に対する、ごみ出し支援の取り組みは。

種 別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 7 日
	2 番 1 号		9 時 00 分
質問方式	☐ 一括質問一括答弁方式 ☒ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 2 月 7 日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員 ふじえ 真理子

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	再度問う。新たな学校教育(中学校)のあり方について
要 旨	昨今、全国各地の小中学校で新しい動きが生まれつつあります。例えば、社会的な関心が高まっている校則(生徒心得)について言えば、本市の中学校ではひと昔前に比べると、頭髪や服装などのルールが緩やかになってきていますが、根本的な課題はまだまだ残されています。 新しい学習指導要領に込められているねらい、本市が推進する「協同の学び」のねらい、更には子どもの権利条約を踏まえた上で、昨年6月定例会月議会での一般質問に引き続き、再度、学校教育(中学校)のあり方について質問します。 ① 校則(生徒心得)に書いてある学校生活のきまり(服装・頭髪・持ち物・登下校・授業・放課・給食・清掃などについて)は、誰がいつどのように定めたものですか？ またその変遷をお答えください。 ② 市内全校で取り組んでいる「協同の学び」の現状、成果と見えてきた課題は？ ③ 定期テストを廃止し、单元ごとのテストに切り換えることの検討を以前に提案しましたが、その後の研究・検討状況はどのようになっていますか？ ④ LGBT(性的マイノリティ)や発達障害等の生徒への具体的な対応は、どのように行われていますか？

⑤ Q-U アンケートについての現状と課題をお答えください。

⑥ 以上の点について、本市の新たな学校教育（中学校）のあり方について、教育長の
見解をお答え下さい。

[illegible]

種 別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 7 日
	3 番 2 号		9 時 00 分
質問方式	☒ 一括質問一括答弁方式 ☐ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 2 月 7 日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員 服部 龍一

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	「広報とよあけ」の配布方法について
要 旨	毎月市から発行される、「広報とよあけ」の各戸への配布方法の多くは、各区の町内会長が印刷業者から受け取り、各班長に区分けした後、各戸へ配布する方法が取られていると聞いています。私供の三崎区においても、その様な方法で配布されています。その様な中、現在も現役で仕事をされている家庭では、平日に配布物を受け取る事に対する負担が大変大きいという声も聞いています。その様な意見も踏まえ現状と今後の対応策についてお伺いします。
	1.現在、各区長に委託して配布していることで、問題になっていることはありますか。
	2.現在、町内会長以外の方法で配布している区はありますか。
	3.現在、上記以外の方法で「広報とよあけ」を入手する方法はありますか。
	4.市のホームページにも掲載され、多くの若い世代は、スマートフォン等でも見る事が出来ますが、今後ペーパーレス化する事は、検討されていますか。

種 別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受 付	令和 2年 2月 7日
	4 番 1 号		9 時 50 分
質問方式		☒ 一括質問一括答弁方式 ☐ 一問一答方式	

一 般 質 問 通 告 書

令和 2年 2月 7日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員 月岡 修一

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	前後駅の駐輪場を抜本的に改善すべきである。
要 旨	今年も有料駐輪場の利用が認められず、空き待ちの方々から苦情を頂いています。知恵を絞りながら抜本的な改善を図る必要があります。そこで以下のことを提案しますので当局の皆さんに真摯に検討して頂きたいと思います。自転車を有料で預かっている、または無料駐輪場を利用している中で、一番利用されているのは「藤田医科大学の学生さん」ではないかと考えています。そこで、提案ですが市が仲介をして駅南側の自動車有料駐車を「藤田医科大学の専用駐輪場」に転化してもらえる用にすべきではないかと考えています。藤田医科大学病院は日本でも有数の高度な技術を駆使して頂いている素晴らしい病院です。その医科大学で学ぶ学生さんに専用の駐輪場を設けてあげることは豊明市にとっても有意義な結果に繋がるものと考えています。 合わせて樺道路から大学へ向かう脇道は照明も少なく、トラブルも絶えないと仄聞していますので間米地域の開発前でも防犯灯を増やして頂きたいと要望を致しておきます。

種 別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 13 日
	6 番 1 号		13 時 42 分
質問方式	☒ 一括質問一括答弁方式 ☐ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 2 月 13 日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員 近藤 千鶴

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	本市における公共交通網促進と道路交通網の整備について
要 旨	本市のまちの未来像やまちづくりの理念を定めた第5次 豊明市総合計画では、「みんなでつなぐしあわせのまち とよ あけ」という未来像のもと、特に交通の面では「交通の利便性がよく、 市外からの人が移り住んだり、通勤・通学している」を、めざすまちの姿 としています。めざすまちの姿の実現には、公共交通の維持・活性化は 必要不可欠と考えます。また、市内の都市計画道路開通後の周辺地域 対策、北部地域で整備予定の名古屋岡崎線は早期整備が望まれてます。 そこでお伺い致します。 ① 豊明市公共交通網形成計画の進捗状況について ② チョイソコとよあけの現状と課題について ③ 市営駐車場の運営・維持管理について ④ 市営駐輪場の管理・運営について ⑤ 都市計画道路の整備・幹線道路網の計画、整備について

種 別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 13 日
	7 番 号		14 時 11 分
質問方式	☐ 一括質問一括答弁方式 ☒ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 2 月 13 日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員 ごとう 学

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	行政過程を示す公文書の適正な管理を
行政の執行は文書をもって行われるといわれるほど、行政活動 の中で文書は重要な役割を果たしています。	
当市においても、そのことは職員に認識され、文書取扱規程や情報公開条例 等に基づき、適正な作成・管理・公開等に努めていることと思います。	
しかしながら、昨今、頻繁にマスコミによって報道されているように、国政 レベルでは公文書の改ざんや不自然な廃棄が後を絶たず、行政への不信、ひい ては民主主義の危機を招来しています。	
この機にあたり、とかく平易な日常業務として処理されがちな文書管理全体 を厳しい目で見直してみることは、職員の自覚と市民の市政への信頼を高める うえで大切なことと考えます。	
公文書管理の改善は、健全で開かれた自治体を形成するための重要なテーマ のひとつとの認識が、近年、急速に広まりつつあり、他市町では先進的な試み もなされています。	
それらを紹介しながら、改善に対する当局の考えを伺います。	
1. 公文書をどのように位置付け、作成・管理を行っているか。	
2. 公文書の廃棄には、多面的なチェックがなされているか。	
3. 市民への公開は、条例の趣旨に則って適切に行われているか。	

種 別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 13 日
	7 番 2 号		14 時 11 分
質問方式	☐ 一括質問一括答弁方式 ☒ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 2 月 13 日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員 ごとう 学

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	行政改革は目に見える成果をあげよ
少子・高齢化が急速に進む中、豊明市もいよいよ人口減少が現実の問題となりつつあり、都市としての活力維持への真剣な取り組み、すなわち行政の改革が、焦眉の課題となっています。 さかのぼれば、昭和 60 年に始まる第 1 次行政改革から、平成 27 年に終わる第 5 次行政改革に至るまでの約 30 年間、行政コストの削減を基軸に、人材の育成、市民サービスの向上、市政への市民参画の推進、先進的事業への挑戦など様々な課題への取り組みが行われ、着実な成果をあげてきました。 豊明市が、今日、他市に恥じぬ行政水準を維持できているのも、こうしたたゆまぬ努力の積み上げの結果と思います。 さて、その後 4 年が経過し、現在は第 6 次行政改革の期間に入り、ここでは、第 5 次総合計画「めざすまちの姿」の実現を標榜しつつ、公共施設を重点に、組織・人材・部内マネジメントを PDCA サイクルで最適化するとしています。 推進体制の是非も含め、これまで 4 年間の成果を伺います。	
1. 行政改革について、どのように理解・認識しているか。	
2. 第 5 次行革終了後、今日までの具体的成果は。	
3. 総合計画の進行管理や行政評価と行革は、どう関連づけられているか。	

種 別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 13 日
	7 番 3 号		14 時 11 分
質問方式	☐ 一括質問一括答弁方式 ☒ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 2 月 13 日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員 ごとう 学

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	会計年度職員は現給保障を
昨年 12 月議会で、会計年度任用職員に昇給や期末手当、地域手当などを認める条例改正が行われ、大半の臨時職員の勤務条件が大きく改善されることになったことは、大変喜ばしいことです。 しかし、この制度改正で、少くない職員が減収になるなどの副作用も発生する見込みとなり、善処を求める意見も出されていきました。 今回の制度改正は、政府の「働き方改革」や「同一労働同一賃金」の一環として、国の強力な指導の下に行われたものであり、勤務条件を改善し少しでも正規職員との格差を是正することが本来の目的であったはずですが。 また、従来の給与制度の見直しにおいても、正職、臨職にかかわらず、一方的に給与を引き下げたという例はありません。 もし、今回そのようなことが行われるとすれば、制度改正の目的に反するばかりでなく、長年の慣行にも反する非常識な措置と言わねばなりません。 制度の実施までにはまだ時間があり、条例の範囲で、市長裁量による規則によって救済できるものであり、善処を求めます。 1. 今回の制度改正の目的をどのように理解しているか。 2. 給与引き下げの実態と回避の努力はどうなっているか。 3. 制度改正に伴い、外郭団体等の臨時職員の処遇への波及をどう考えるか。	

種 別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 13 日
	8 番 1 号		14 時 26 分
質問方式	☐ 一括質問一括答弁方式 ☒ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 2 月 13 日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員 林 ゆきひろ

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	都市計画税の使途について
要 旨	都市計画税は、地方税法第 702 条に『都市計画法に基づいて行う都市計画事業又は土地区画整理法に基づいて行う土地区画整理事業に要する費用に充てるため、当該市町村の区域で都市計画法第 5 条の規定により都市計画区域として指定されたもののうち同法第 7 条第 1 項に規定する市街化区域内に所在する土地及び家屋に対し、その価格を課税標準として、当該土地又は家屋の所有者に都市計画税を課することができる。』とあります。 都市計画事業または土地区画整理法に基づいて行う土地区画整理事業が実施されることによって、土地や家屋の利用価値が向上し、その所有者の利益を増大させることが認められるという税の負担と受益に着目した目的税です。 しかし、本市の都市計画税の使途が、“土地や家屋の利用価値向上”となっているのか、徴収されていない調整区域との間に不公平は生じていないのか、検証する必要を感じています。 都市整備の進展とともに、都市計画税の役割や必要性も変化していくのではないのでしょうか。市民が納得できる都市計画税とするため、質問いたします。 1. 市としての都市計画税に対する考え方について 2. 都市計画税の充当事業の内訳について 3. 下水道公営企業会計への充当について

4. 今後の都市計画税の充当事業、税率改定について

5. 市民への知らせ方について

種 別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 13 日
	8 番 2 号		14 時 26 分
質問方式	☐ 一括質問一括答弁方式 ☒ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 2 月 13 日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員 林 ゆきひろ

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	家庭相談員による相談事業の拡充を要望する
要 旨	近年、子どもの虐待に関する相談、または虐待の疑いに係る相談など、著しく増加しています。 こうした問題に対応するため、子どもとその家庭に最も身近な市町村（自治体）の役割が非常に重要になっています。 市町村は、今、住んでいる子どもの安心・安全を念頭に置くことはもちろん、次代の社会の担い手たる子ども全般の健全な育成、子どもの最善の利益を考えた施策を行う必要があります。市町村が中心となり、多様な機関との連携、緊急かつ高度な専門的対応、きめ細やかな対応が求められています。 本市においても、家庭児童相談室を設置し、家庭における児童養育に係る諸問題の相談業務、子どもの虐待に対する施策、県の児童相談所との連携による子どもの安全確保等を行っておりますが、家庭相談員による相談事業のさらなる体制強化を期待し、以下の質問をいたします。 1. 家庭児童相談室の現状について 2. 家庭児童相談室の課題について 3. 今後の運営体制について

種 別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 13 日
	9 番 1 号		16 時 25 分
質問方式		☐ 一括質問一括答弁方式 ☒ 一問一答方式	

一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 2 月 13 日

豊明市議会議長 殿

豊明市議会議員 清 水 義 昭

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	情報管理および情報機器利用、促進について
要 旨 昨今、情報機器が安価となり、業務だけでなく、日々の暮らしにおいても欠かせないものとなりつつある。 その形態においても、近年では、機器のみを持ち歩き、必要なサービスやデータはネットワークを介して利用する方向へと進んでいる。 第5世代移動通信システム「5G」に代表される今後の情報インフラ整備等により、さらなる情報化の促進が期待される中、全国ではたびたび問題も起きている。 そこで本市の情報推進に対する考え、および以下の点についてお聞きする。 ○情報の管理方法 ○情報記憶装置の破棄 ○自治体クラウド ○ITリテラシー ○ペーパーレス化 ・配布物 ・決済 ○Wi-Fi化 ・市施設 ・地域	

種 別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 13 日
	9 番 2 号		16 時 25 分
質問方式	☐ 一括質問一括答弁方式 ☒ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 2 月 13 日

豊明市議会議長 殿

豊明市議会議員 清 水 義 昭

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	唐竹小学校跡施設活用に至った経緯について
要 旨	教育の観点から、唐竹小学校と双峰小学校を統合することが決定され、現在の双峰小学校施設を利用し、新たに二村台小学校を開設する準備が着々と進んでいる。 市は、小学校としての機能を終える唐竹小学校跡施設を、様々な方面で活用する施策を打ち出している。 そこで、唐竹小学校跡施設を活用することとなった経緯についてお聞きする。

種 別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 14 日
	11 番 号		10 時 55 分
質問方式	☐ 一括質問一括答弁方式 ☒ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 2 月 14 日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員

中村 めぐみ

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項	育児休業に伴う保育園未満児退園の見直しを求める
要 旨	女性の結婚・出産回避の背景に、仕事と育児の両立負担があるとされ、1990年代以後、少子化対策の重点施策として、企業においては、育児休業制度を中心に支援が拡大されてきました。 話題に上がることも増え、男女とも取得率は上昇しています。 共働きの増加、働き方改革など様々な要素も加わり、今後もこの傾向が続くことは間違いないと言われています。 そうした中、本市は、出産後に上の子が未満児の場合、産後8週間の産休期間が過ぎ、育休に入ると退園しなければならず、その育休取得や妊娠・出産のタイミングに苦慮するという声をよく聞きます。 この制度は自治体によって異なり、隣接する名古屋市にはありません。子育て世帯が望む時に第2子・第3子の妊娠・出産ができるよう、退園による子どもへの影響を無くすため、改善を求め質問します。 ① 本制度による退園の状況について ② 未満児退園に伴う影響及び課題について ③ 未満児退園制度の見直しについて

種 別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 14 日
	11 番 2 号		10 時 55 分
質問方式	☐ 一括質問一括答弁方式 ☒ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 2 月 14 日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員

中村 めぐみ

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発言事項	乳がん・子宮がんの早期発見と 検診の受診率向上をめざして
要 旨	がん検診については、これまで幾度も一般質問で取り上げられてきましたが、依然として受診率が目標値を下回る状態が続いています。 今回は女性罹患者数 1 位の乳がん、5 位の子宮がんについて質問します。 乳がんでは注目すべきは、他のがんと比べ比較的若い世代から注意が必要な点です。罹患割合は 30 歳代から増加し、40 歳代後半から 50 歳代前半にピークを迎え、死亡率は 20 歳代後半から上昇し 60 歳代がピークです。 子宮がんは、20 歳代後半から増加して、40 歳代でピークを迎え、その後横ばいとなります。15 歳～44 歳までの若い年代に限れば、罹患率、死亡率とも乳がんについて 2 位です。（日本がん研究センターHP より） ともに早期発見には、20 歳代後半からの検診が重要になります。 検診が大切なことは理解していても、恥ずかしさもあり、どうしても敬遠されがちです。そこで、早期発見と受診しやすい検診を求め、質問します。 ① 乳がん、子宮がん検診における受診率の状況について ② 女医によるがん検診の実施について ③ がん検診の対象年齢の拡大について ④ 乳がんの検診の超音波検診併用について

種 別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 14 日
	12 番 1 号		11 時 35 分
質問方式	☒ 一括質問一括答弁方式 ☐ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 2 月 14 日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員 鵜飼 貞雄

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	災害に備えた施策について
要 旨 ----- 昨今、日本各所では過去に例を見ないような異常気象による自然災害や、大型台風がもたらす風被害、地震による震災が発生しており、自然の前では人間の力は無力だと痛切に感じます。 災害に対する施策については、当議会でも幾度となく取り上げられており関心の高さがうかがえ、市当局におかれましても考え得る最善の施策を講じられていると理解します。 私たちは、来る災害に対した物的な備えと心構えが重要です。他市町の事例や報道などを目にし、まだやり残している事は無いか確認も含め以下の点について質問します。 ----- 1.市庁舎の非常用電源の容量について。 ----- 2.避難所の環境整備・改善について。 ----- 3.自治体加入の避難保険について。 ----- -----	

種別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受付	令和 2 年 2 月 14 日
	13 番 号		11 時 52 分
質問方式	☒ 一括質問一括答弁方式 ☐ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 2 月 14 日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員 堀内 ちほ

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発言事項 (件名)	ヘアドネーション (ヘア=髪の毛 ドネーション=寄付)
	普及について
要 旨	「ヘアドネーション」とは、抗がん剤治療、脱毛症、不慮の事故などにより、頭髪を失ってしまった18歳以下の子どもたちに、寄付された髪で作成されたオーダーウィッグを無償で提供される活動です。 現在、その活動は様々な形で周知される様になり、実際に私の友人も髪を提供されました。頭髪に問題がある患者に寄り添える手助けのひとつとして、ヘアドネーションがあると思うのです。この取り組みに、小学生の男の子も賛同し、どんなに周りの子にからかわれても「病気の人を助けたい!」という強い思いで髪を伸ばしていた、という新聞記事もありました。 豊明市でも、頭髪に悩みのある子どもに対し、優しい気持ちで接することが出来る様、ヘアドネーションの取り組みを小学校・中学校でも周知されているか、それに伴い、美容店・理容店でもヘアドネーションに賛同して頂ける様な取り組みを望み、質問させていただきます。
	1.頭髪に問題がある子どもに対しての市からの援助は
	2.現在、子どもの頭髪についての相談件数は
	3.市は、ヘアドネーション賛同の美容・理容店を把握されているか

種 別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 14 日
	13 番 2 号		11 時 52 分
質問方式		☒ 一括質問一括答弁方式 ☐ 一問一答方式	

一 般 質 問 通 告 書

令和 2 年 2 月 14 日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員 堀内 ちほ

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	民家駐車場の有効活用について
要 旨	現在、住宅地での駐車取り締まりは厳しいものです。 中でも、ヘルパーが介護のために伺ったお宅の前で（駐停車禁止場所でも、角から5m以内でなくても）駐車禁止で取り締まられています。 その他の場所でも、警察署から配布される「ヘルパー支援中」のステッカーを付けていても取り締まられる、なんの意味もない状況です。 駐車違反の反則金は、ヘルパーの自己負担とされた事業所もあります。 今は苦慮しながら、コンビニ、店舗、小学校などをお願いをして駐車されているとの事ですが、お断りされる事もあるそうです。遠くの駐車場からの移動時間は支援の時間には含まれません。今後もこの様な状況が続けば、駐車場がないお宅の支援が難しくなるかもしれません。テレビなどでも取り上げられ、話題になっている民家の空き車庫を利用させて頂ける、地域での取組みに向けて質問をさせていただきます。
	1.現在、市内で在宅介護等でヘルパーを利用されている家庭件数は
	2.駐車違反についての相談は
	3.駐車違反件数は

種 別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 14 日
	14 番 1 号		11 時 55 分
質問方式	☐ 一括質問一括答弁方式 ☒ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和2年2月14日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員 宮本 英彦

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	小学校プールの廃止と水泳授業の民間委託について
要 旨	全国の小学校で、学校プールの水泳授業をやめ、民間の屋内プールを活用し水泳授業を委託する動きが広がっています。 プールの維持費や大規模改修等に係る多額の費用を抑えるだけではなく、屋内施設なら熱中症や空模様も気にすることなく計画的に水泳授業ができ、保護者にも好評であります。本市も豊明小学校、双峰小学校と唐竹小学校の水泳授業が民間委託され、令和2年度から三崎小学校、沓掛小学校、舘小学校が予算化されています。本市における小学校プールと水泳授業の今後のあり方について一般質問します。 1. 小学校の水泳授業を民間委託する理由及び既に民間委託した水泳授業に対する評価について。 2. 学校プール開放事業の今後の方針について。 3. 学校プールの耐用年数、維持費などについて。 4. 民間委託後の小学校プールの今後について。 以上

種 別	☒ 個人質問 ☐ 代表質問	受 付	令和 2 年 2 月 14 日
	14 番 2 号		11 時 55 分
質問方式	☐ 一括質問一括答弁方式 ☒ 一問一答方式		

一 般 質 問 通 告 書

令和2年2月14日

豊明市議会議長 様

豊明市議会議員 宮本 英彦

次の事項に関し、一般質問をいたしたいので通告をいたします。

発 言 事 項 (件名)	少人数学級（35人以下）と教員補助員と支援員について
要 旨	双峰小学校及び唐竹小学校のよりよい教育環境を実現するための 基本方針において、全学年において35人を上限とした学級編成 をし、児童一人一人の個に応じたきめ細かい指導を行えるようにすると表明し ています。そこで、35人学級以下の少人数学級に対する見解と、教員補助員・ 支援員との関係について一般質問します。
	1. 35人以下の少人数学級の対象校について。
	2. 35人以下の少人数学級に向けた具体的な対応などについて。
	3. 教員補助員の実態及び配置基準などについて。
	4. 通常学級に在席する発達障害などで支援を要する児童及び支援員の実態に ついて。
	5. 通常学級に在席する発達障害などで支援を要する児童への学習・生活支援 と支援員について。
	以上